

株式投資③

銘柄選びの手法

■ ファンドメンタル分析

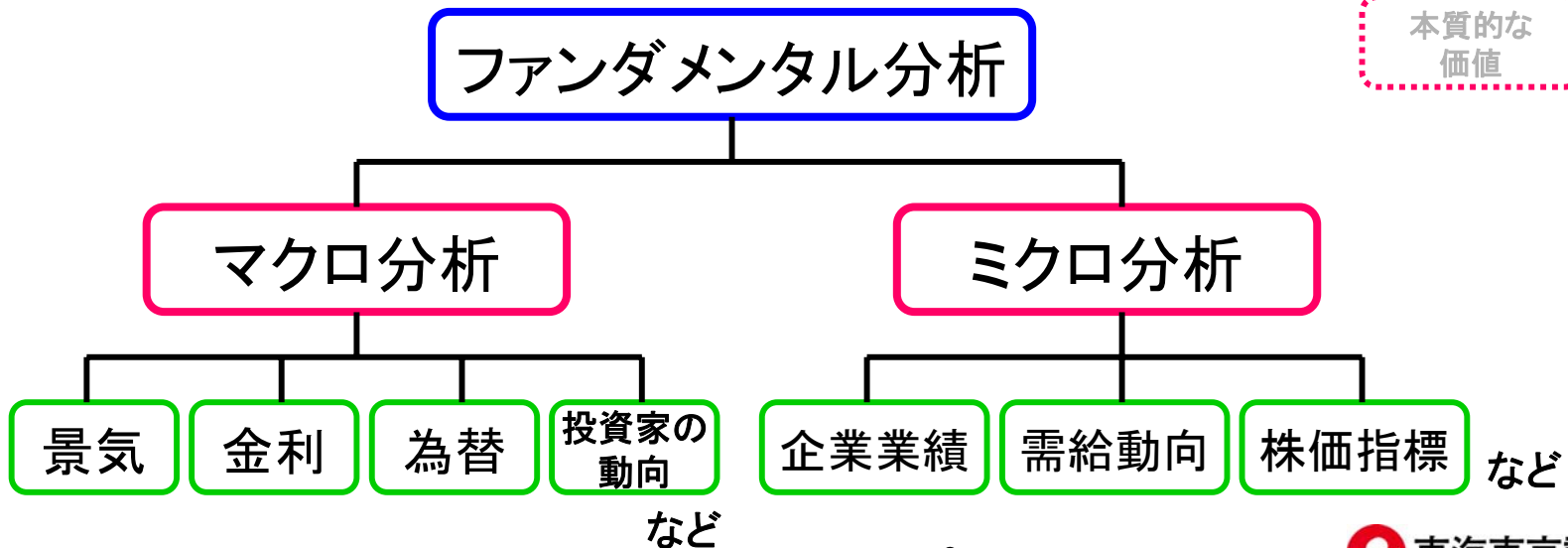
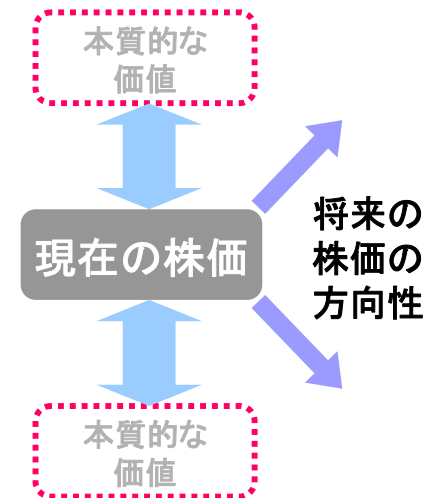
株価が変動する本質的な要素（経済動向、企業業績等）をもとに、将来の株価の方向性を予測。

- マクロ分析

景気や金利、為替など、経済環境全体を見渡す。

- ミクロ分析

個別企業の業績、株式の需給動向、株価指標等

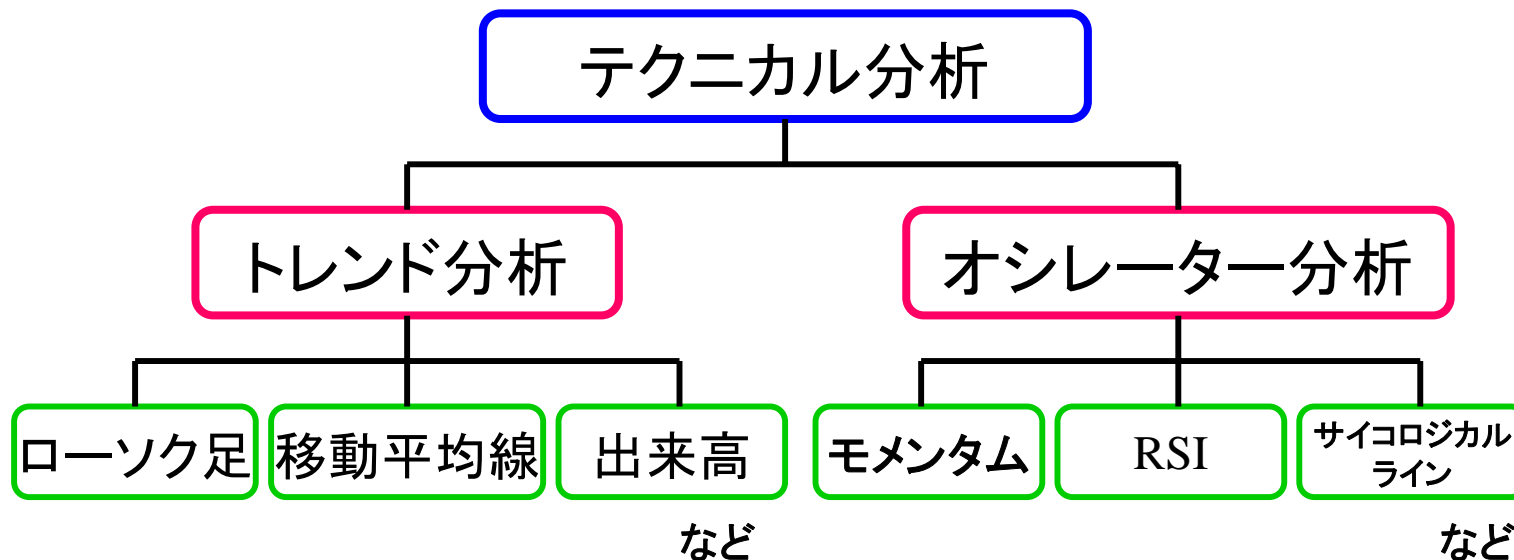


銘柄選びの手法

■ テクニカル分析

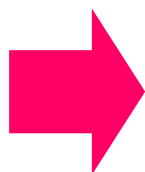
データや経験則をもとに、将来の株価の方向性を予測。
株式売買のタイミングをはかる。

- トレンド分析
- オシレーター分析

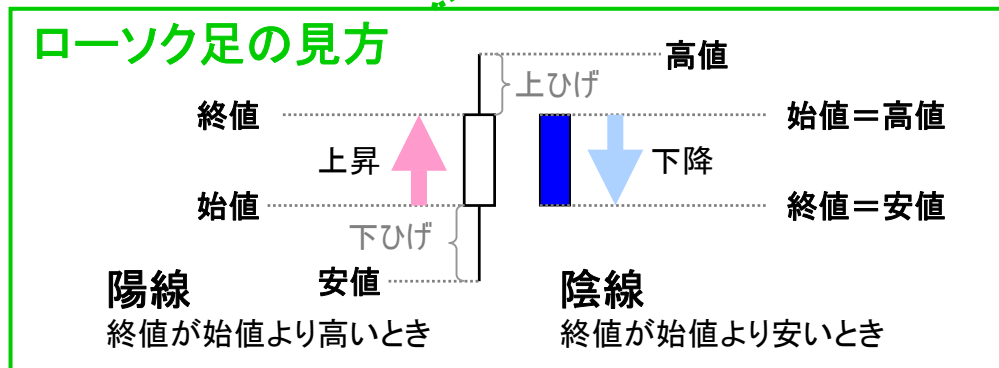
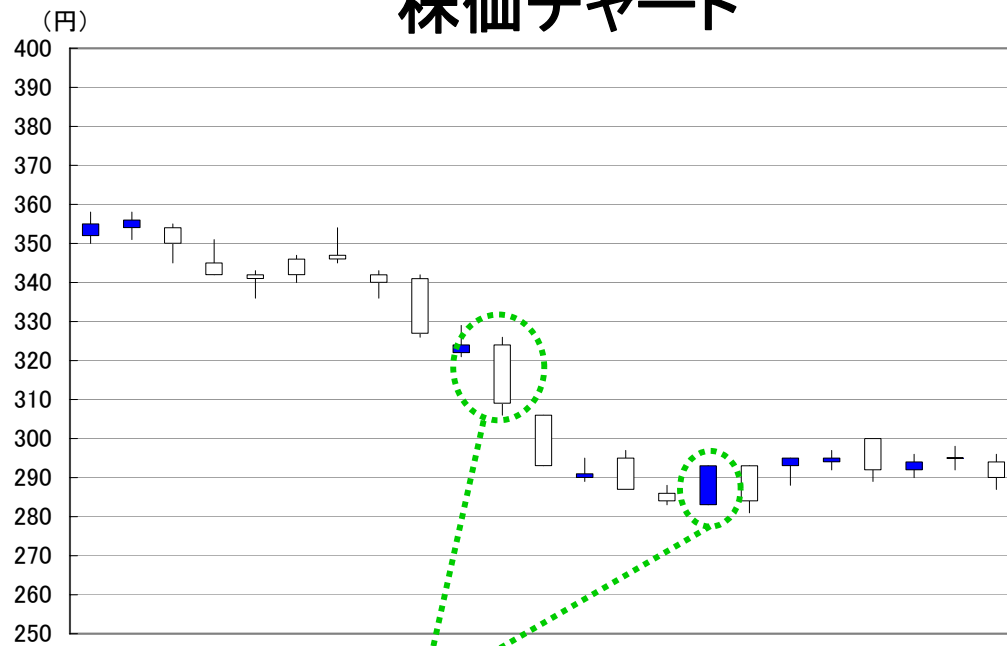


チャートの見方(ローソク足)

始値	高値	安値	終値
355	358	350	352
356	358	351	354
350	355	345	354
342	351	342	345
341	343	336	342
342	347	340	346
346	354	345	347
340	343	336	342
327	342	326	341
324	329	321	322
309	326	306	324
293	306	293	306
291	295	289	290
287	297	287	295
284	288	283	286
293	293	283	283
284	293	281	293
295	295	288	293
295	297	292	294
292	300	289	300
294	296	290	292
295	298	292	295
290	296	287	294



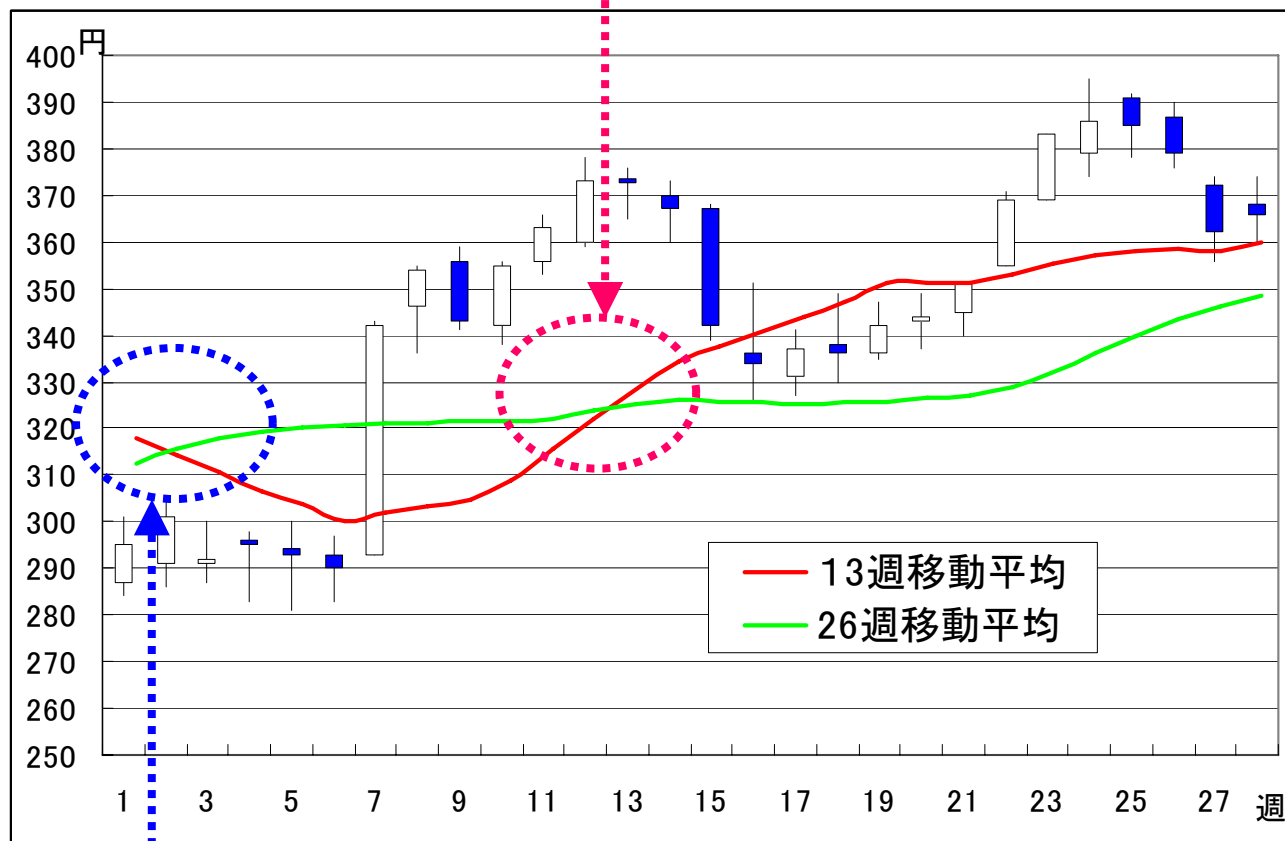
株価チャート



チャートの見方(移動平均)

ゴールデンクロス

中期線が下から上へ



デッドクロス

中期線が上から下へ

指標

■ 投資判断に用いられる指標

株価指標

株価収益率 (PER)

株価純資産倍率 (PBR)

企業の収益力の指標

株主資本利益率 (ROE)

総資産利益率 (ROA)

配当金額の指標

配当利回り

配当性向

等々

株価指標①

■ 株価収益率 (PER: price earning ratio)

株価が一株あたりの利益の何倍あるか

= 利益に比べて株価は割安なのか、割高なのか

計算式

PER(倍) = 株価(円) ÷ EPS(円)

EPS(1株あたり純利益) = 純利益 ÷ 発行済み株式数

計算例

株価400円、1株あたりの純利益40円の場合

$400 \div 40 = 10 \Rightarrow 10$ 倍

同じ業界での比較	
	PER
A社	10倍
B社	8倍
C社	12倍

過去との比較	
D社	PER
2008年度	15倍
2009年度	18倍
2010年度見込み	11倍

株価指標②

■ 株価純資産倍率 (PBR: price book-value ratio)

株価が一株あたりの純資産の何倍あるか

= 純資産に比べて株価は割安なのか、割高なのか

計算式

$\text{PBR(倍)} = \text{株価(円)} \div \text{BPS(円)}$

$\text{BPS(1株あたり純資産※)} = \text{純資産} \div \text{発行済み株式数}$

※純資産: 企業の資産から負債を差し引いた金額。借金等を含めない純粋な資産

計算例

株価600円、1株あたりの純資産500円の場合

$600 \div 500 = 1.2 \Rightarrow 1.2\text{倍}$

PBR0.2倍



一株あたりの
純資産

>

1株の株価

PBR1倍



一株あたりの
純資産

=

1株の株価

PBR1.2倍



一株あたりの
純資産

<

1株の株価

その他の投資指標①

■ 株主資本利益率 (ROE: return on equity)

株主資本を使って、どれだけ利益を上げることができたか
= 自己資本をベースに効率よく利益があげられているか

計算式

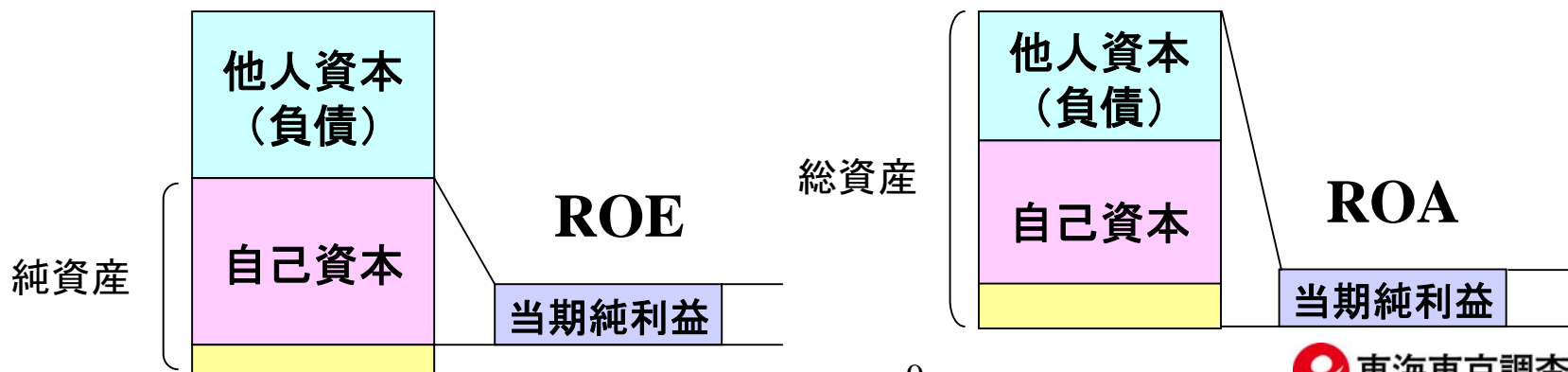
$$\text{ROE}(\%) = \text{当期純利益}(\text{円}) \div \text{自己資本}(\text{円}) \times 100$$

$$\text{自己資本} = \text{純資産} - \text{新株予約権} - \text{少数株主持株分等}$$

計算例

当期純利益18億円、自己資本120億円の場合

$$18 \div 120 = 0.15 \Rightarrow 15\%$$



その他の投資指標②

■ 配当利回り

投資した金額に対して、何%が配当として戻ってくるか

計算式

$$\text{配当利回り}(\%) = 1 \text{株あたり年間配当金}(\text{円}) \div \text{株価}(\text{円}) \times 100$$

計算例1

① 株価1000円、1株あたり配当金(年間)50円

$$50 \div 1000 = 0.05 \Rightarrow 5\%$$

② 株価500円、1株あたり配当金(年間)50円

$$50 \div 500 = 0.1 \Rightarrow 10\%$$

計算例2

① 株価300円、
1株あたり配当金(年間)15円

② 株価200円、
1株あたり配当金(年間)8円

$$\text{① } 15 \div 300 = 0.05 \Rightarrow 5\%$$

$$\text{② } 8 \div 200 = 0.04 \Rightarrow 4\%$$

その他の投資指標③

■ 配当性向、株主資本配当率 (DOE: dividend on equity)

- 配当性向とは、当期純利益のうちどれくらいが配当として株主に還元されたかを示す割合
- DOEは配当された金額の総計が、株主資本のどれくらいの割合かを示すもの

計算式

配当性向 = 配当総額(円) ÷ 当期純利益(円) × 100 (%)
= 1株あたりの配当額(円) ÷ 1株あたりの当期純利益 × 100

DOE (%) = 配当総額(円) ÷ 株主資本(円) × 100
= ROE × 配当性向 × 100

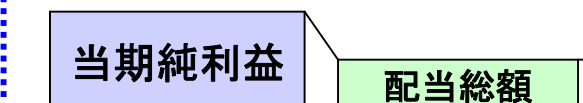
計算例

当期純利益18億円、配当総額7.2億円、
自己資本120億円の場合

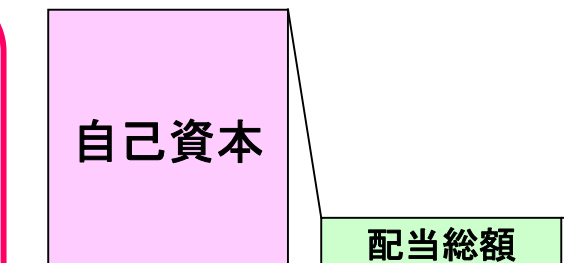
配当性向 $7.2 \div 18 = 0.4 \Rightarrow 40\%$

DOE $7.2 \div 120 = 0.06 \Rightarrow 6\%$

【配当性向】



【DOE】



DOE = 配当性向 × ROE

金融商品取引法に基づく表示

■ リスク・手数料等諸費用について

金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して上限1.265%（税込）（ただし、最低手数料2,750円（税込））の委託手数料がかかります。投資信託の場合は、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。

金融商品等には株式相場、金利水準の変動等による「市場リスク」、金融商品等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の「信用リスク」、外国証券である場合には、「為替変動リスク」等により損失が生じるおそれがあります。さらに、新株予約権等が付された金融商品等については、これらの「権利を行使できる期間の制限」等があります。なお、信用取引又はデリバティブ取引を行う場合には、その損失の額がお客様より差入れいただいた委託保証金又は証拠金の額を上回るおそれがあります。

手数料等およびリスクは、金融商品等ごとに異なりますので、契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。

この講座は、東海東京調査センターが作成し、東海東京証券株式会社が許諾を受けて提供しております。投資判断の最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。

【東海東京証券の概要】

商号等 : 東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会